

## 歴史（日本史）〈H01A〉

配当年次	全学年
授業科目単位数	4
科目試験出題者	松崎 彰
文責（課題設題者）	松崎 彰
教科書	<b>基本</b> 中央大学文学部日本史学研究室『歴史（日本史）』（中央大学通信教育部）

### 《授業の目的・到達目標》

日本史を学ぶ目的は、私たちの祖先がどのような歩みと営みを続けて現在の日本社会を形成してきたかを理解し、私たち自身の生き方を考えるためです。そのためには、政治・経済・文化など様々な社会現象の動きや相互関係を、時間的経緯の中で総合的に分析し、把握する事が必要となります。

授業では、日本の歴史過程を、年表式の事実羅列ではなく「社会全体の大きな流れ」として理解できるようになる事を到達目標としています。

### 《授業の概要》

日本史の授業では、以下の学習を通して目標到達を目指します。

- (1) まず、教科書『歴史（日本史）』を通読し、研究状況を確認します。

諸事実の持つ歴史的意義や相互連環をわかりやすく整理し、かつ体系化した教科書や概説書などを読むことは、日本史の研究状況を確認するため効果的な入門法と言えます。すなわち、日本史上の事件や事実に関する研究の進捗状況を確認できるだけでなく、「個別の史実がどのように位置づけられて時代像が構成されているか」という点を学ぶことができるわけです。この学習を通じて、一部の史実をもって歴史像を即断するのではなく、その時代の特色や前後の時代との関連性を意識しつつ社会の全体像を理解するよう努力してください。

- (2) 次に、学習報告を利用して各自の学習成果をまとめます。

学習報告（レポート）の課題は、政治・経済・外交・文化など同一分野のテーマを、各時代順に分析してゆく方針で出題しています。これは、歴史過程の連続性や各時代の特色を意識しつつ、「全体史の流れ」を理解していただきたいと考えるからです。皆さんは、学習の成果をノート等にまとめ、課題レポート提出と添削とを通して、年表式の事実羅列ではない、「全体史の流れ」を意識した学習報告の完成を目指してください。教科書の巻末には参考文献が掲載されておりますので、より深い分析も可能です。また、疑問や不明点がでた場合は、質問票を活用して解決してください。

### 《学習指導》

歴史学の分析対象は社会の事象全般に及びます。そのため、学習するための特別な前提科目があると言うよりは、皆さんの知識や学問経験が、歴史の理解を深めることに役立つと言えます。したがって、まずは自分の興味をもつ分野や事件等を手がかりとして、広く探求を進めれば、日本史に対する理解も深まるのではないのでしょうか。その際、概説書などを通じて「全体史の流れ」を把握しておけば、より認識も深まり、楽しく学べると思います。

《成績評価》

試験（科目試験またはスクーリング試験）により最終評価する。

## 歴史（日本史）〈H01A〉

- ◎課題文の記入：不要（課題記入欄に「課題文不要のため省略しました。」と記入すること）
- ◎字数制限：1 課題あたり 2,000 字程度（作成基準のとおり）

### 第1 課題

「大化改新」前後の東アジア情勢について説明しなさい。

### 第2 課題

「蒙古襲来」と鎌倉幕府の対応について説明しなさい。

### 第3 課題

「鎖国制」の形成について説明しなさい。

### 第4 課題

幕末期の「開国」について説明しなさい。

### 〈推薦図書〉

- |                  |                     |         |
|------------------|---------------------|---------|
| (1) 歴史学研究会 編     | 『日本史年表』〔第5版〕(2017年) | 岩波書店    |
| (2) 佐々木 潤之介 ほか 編 | 『概論 日本歴史』           | 吉川弘文館   |
| (3) 歴史学研究会 ほか 編  | 『日本史講座』(全10巻)       | 東京大学出版会 |
| (4) 石上 英一 ほか 編   | 『日本の時代史』(全30巻)      | 吉川弘文館   |
| (5) 網野 善彦 ほか 編   | 『日本の歴史』(全26巻)       | 講談社学術文庫 |

\*上記(1)『日本史年表』は、試験会場に持込み、参照することができます。

\*上記(3)・(4)・(5)の書籍は、出版社では在庫切れの場合がありますので、基本的に図書館での利用をおすすめします。

\*その他の参考文献については、教科書『歴史（日本史）』巻末に掲載されている「参考文献」、および『Libellus2 レポートの書き方』掲載の「歴史（日本史）の自宅学習とレポート」を参照してください。